



全公立展 ～緑総の特長をアピール～

6月6日(土)にパシフィコ横浜において、第九回「全公立展～スタートアップイベント～」が行われました。昨年は3万5千人の来場者でしたが、今年は2千人増の3万7千人でした。

緑園総合では学校説明会のスタッフをボランティア募集しています。今年度は57人が登録しており、都合のつく日に参加することとなっています。

今年度の初日である全公立展は、午前中が10人、午後は6人が参加しました。それ以外にも、全公立展全体の運営生徒スタッフとして、別に7人が参加しており、合計で23名の生徒が力を尽くしてくれました。

ボランティアの生徒の皆さんは、笑顔でチラシを配りながら、来場者の方に話しかけます。興味を持った方は生徒に質問をしたり、展示物や掲示パネルに近づきます。

学校の為に役立ちたい、学校選びをする中学生や保護者の方のためになりたい、そういう思いを持ったボランティアの生徒ですから、心のこもった対応ができます。自分で分からない時はしっかりと先生方につなぎます。興味を持っていただいた方に納得して帰っていただきたいという思いが伝わってきます。

ある中学校の校長先生から、「中学生や保護者の方は、『単位制』のメリットや内容が壁になっている。さらに『総合学科』のメリットや内容が飲み込めず、不安に思うのだと思う。」というご意見をいただいたことがあります。

また、保護者の方に「総合学科で学んで、子供が成長できた」と喜んでいただき、その方は中学校の保護者の方に勧めてくださったということもわかりました。

総合学科の学びの素晴らしさを伝えるためには、そこで学んでいる生徒の姿を見ていただくこと、保護者の方の生の声を聞いていただくことが最も有効であると思います。

社会に出ていくために、最適の進路選択ができるよう、自分を見つめ自分の適性を活かせる教育を展開していきたいと思いました。



電卓競技大会で全国大会に出場!

6月7日(日)に全国高等学校電卓競技大会予選会が藤沢翔陵高校で開催されました。結果は電卓競技の個人総合競技で2年7組の井上紗希さんが2等、3年3組の橋田翔吾君と3年4組の田村涼太君が佳良(8位相当)でした。2位となった井上さんは全国大会への出場となりました。



左から田村君、井上さん、橋田君

また、種目別競技では井上さんはビジネス計算と読上算で優勝、田村君はビジネス計算と読上算で2等を獲得しています。

県内の商業科の生徒の皆さんと競い、講師の林先生の熱心なご指導のおかげで、3年連続全国大会出場を達成することができました。

ビジネス基礎の授業の学習の延長上で、授業外においても先生に鍛えていただいています。「授業の先に全国がある。」素晴らしいと思いませんか?

緑園の授業 ～集中そして習得～

今回は英語科の大槻先生の授業を紹介します。今、神奈川県では英語による授業への取り組みが行われています。

大槻先生はそのような英語による授業をできるだけ実践しながら、生徒の集中を維持させつつ、授業内容を授業の中で定着させる方法を様々に工夫しています。

読みは起立して行い、単語の意味と発音をペアで確認しあいます。その上でまた、起立して皆で読みます。最初よりも自信を持って声が出ています。

一つひとつの学びの区切りを3～5分としテンポよく進められていきます。

様々な形のペアによる活動が取り入れられており次から次へと展開していきいますが、その中でも私が感心したのは、ペアで本文の日本語訳を考え、指名もペアで指名され、片方が英文を読み、もう片方が日本語訳を答える部分です。二人で訳を相談し発表するのです。

そして最後のまとめは、4人グループによる、本時で学んだ英文の暗唱です。分担をして4人で先生の前で発表をし、この時間のまとめとなります。

校長 遠藤 誠